



▲尾崎のコスモス畑 (9月中旬撮影)

八千代少年少女合唱団 「花とライオン児童合唱音楽賞」受賞

この賞は詩人であり童謡作家の故・小黒恵子さんが設立した、「公益信託小黒恵子児童合唱音楽振興基金」によって授与されるもので、年に1回、全国の団体から1団体だけ選ばれます。八千代少年少女合唱団の長年にわたる児童合唱音楽振興への寄与、地域の文化活動への参加、海外公演による国際貢献活動が評価され受賞しました。



▲8月29日に市長を表敬訪問

募集 ホストファミリーになりませんか コミュニティワールドカップサッカー in 八千代

12月に開催される「コミュニティワールドカップサッカー in 八千代」の期間中に韓国人選手のホームステイの受け入れをしてくれるホストファミリーを募集します。2人1組で受け入れをお願いします。

依頼内容は、①大会会場への選手の送迎 ②朝晩の食事の用意 ③ユニホームなどの洗濯、です。引き受けられる人、興味のある人は、文化・スポーツ課☎481-0305へご連絡ください。



新ジャンルのファミリー蕎麦誕生！ 和洋女子大生とやちよ蕎麦の会が共同開発

やちよ蕎麦の会では昨年引き続き、管理栄養士を目指す和洋女子大学の学生との共同開発で、蕎麦を使った3つの新メニューを開発しました。味・彩り・食材・栄養バランスを考え尽くしたメニューを期間限定・数量限定で販売します。

▶商品名/期間 ①坦々風まろやか豆乳ピーナッツそば / 10月17日(月)～23日(日) ②八っちそば / 10月24日(月)～30日(日) ③スープカレーつけそば / 10月31日(月)～11月6日(日) ▶実施店舗 さわ田茶家(萱田町595) ☎486-3311、大島屋(村上1741-9)

☎484-2800、蕎麦セイジ(大和田新田926-8) ☎450-3033、きそば更月(八千代台東6-23-7) ☎482-7077、そば処寿美吉(高津団地1-17-103) ☎450-0478、そば喫茶去万屋(大和田307-13) ☎482-2311、定休日・営業時間、1日に提供する数量は各店舗へ問い合わせを ▶価格 3品とも1,100円(税込・全店共通) ▶問い合わせ 八千代産学官協同ネットワーク運営協議会(八千代商工会議所内) ☎483-1771 (商工課)



▲10月4日にさわ田茶家で新メニューの発表会が行われました



▲坦々風まろやか豆乳ピーナッツそば



▲八っちそば



▲スープカレーつけそば

一緒にお茶をどうぞ

シルバー人材センター勝田台出張所「お茶日和」オープン

八千代市シルバー人材センターでは、9月下旬から勝田中央公園の目の前(勝田台3-8-4)に出張所を開設しました。地域の人々の集いと交流の場、その名もサロン「お茶日和」。高齢者の皆さんの憩いの場となり、交流の輪を広げていくお手伝いをします。地域の人々の利用を通して、シルバー人材センターへの関心を高めるとともに、イキイキとした地域づくりを目指します。

オープンしている日時は、火曜・金曜日の週2回、午前10時から午後4時までです。運営は、勝田台地

域の同センター会員がボランティアで担当します。冷暖房完備、机、いす、CDプレイヤーなどもあります。お茶を飲みながらおしゃべりをしたり、囲碁や将棋など趣味の交流で楽しいひと時も。地域の高齢者を中心にどなたでも自由に利用できます(約20人の利用が可能です)。

今後、サロン「お茶日和」では、地域に密着して会員のサークル活動や、また地域住民を対象にした講習会、健康体操などを積極的に行います。問い合わせは、同センター☎484-4680へ



▲素敵な看板がお出迎え



▲どなたでも気軽に立ち寄れるアットホームな雰囲気

八千代歌壇

佐波 洋子選

らくらく★かんたん予防接種ナビ
予防接種情報をお知らせするほか、スケジュールを自動作成し、接種日が近づくとメールでお知らせします。詳しくは母子保健課☎(486)7250へ



青春は驕慢(きょうまん)だったと悔む時遠く消えゆく君に似し雲
(八千代台東) 森野 豊作

君の住む赤い屋根見むと海沿いを走るバスの左に座る
(八千代台北) 水野大佳代

星空を仰ぎ黄泉路の夫(つま)せて七夕の夜の夢にても来よ
(八千代台北) 秋山富美子

咲き極むギガンジニームの青き穂掲げる莖の真直ぐが好き
(ゆりのき台) 池内きよ子

油(あぶら)浮く夏の運河(うね)につなぐれし船(ふね)赤錆(あか錆)ひて陽射(ひかり)は厳(げん)し
(大和田新田) 丸本八津男

うら盆(ぼん)の墓(はか)参(ま)りは家紋(かこん)のちようちんを下げ「おぼんです」と言
(勝田台) 石垣 玲子

ブランコに揺られてみたい日暮(ひぐ)れですあなたの嘘(うそ)など許してしまおう
(八千代台西) 百瀬水枝子

朝霧(あさぎり)を勢(いきほ)く切りさくツバメたち今日(けふ)もさわやか妙高(たけが)の原
(八千代台南) 菱沼美恵子

選評 一首目、人は年月を経て若さの未熟さに気付く。「驕慢(きょうまん)だった」に誠実(まこと)さと慙愧(じゆんけい)の念(ねん)がひとと伝(つ)わる。下の句の懐(なつか)しさと切(き)ない甘(あま)やかさで普遍性(はんぱんせい)を獲得(くわく)した。二首目、「赤い屋根」左(ひだり)にの具体(ぐたいてい)がいい。海沿(うみぞ)いを走るバスの窓(まど)から懸命(けんめい)にその屋根(やね)を探(たず)ねる姿(すがた)が髣髴(ほうふつ)とする。「走る」は「走(は)れる」とすると状態(じょうたい)がでる。三首目、失恋(しよれん)の歌。三句以下の韻律(いんりつ)もよくロマンチックだ。二句目は句割(くわり)れだが、「仰(あや)ぐ私(わたし)」として意味(いみ)の通(と)るようになりたい。「黄泉路(よみぢよ)」は省(は)いても分かる。

やちよ川柳

八千代川柳連盟選

晴(は)れ舞台(ぶたい)見馴(みな)れた友(とも)の別(わか)れ顔(かほ) 八千代台 皆川 治
青虫(あおむし)になるほど食(た)べる生野菜(なまやさい) 村 上 菊田(きく)差知(さち)子
草食(くさく)に欲(ほ)しい男(おとこ)のがむしゃらさ 大和田新田 矢澤 光江
似合(にあ)いそう今日(けふ)の私(わたし)に赤(あか)い服(ふく) 吉 橋 今(いま)別府(べつぷ)文(ぶん)乃
恐(おそ)いものに今(いま)は地震(ちゆじん)とテロリスト 吉 橋 藤(ふじ)田(だ) 千晴(ちゆはる)晴
汗(あせ)だくの作業(さぎょう)あつての冬野菜(ふゆやさい) 八千代台北 新木(にい)さち子
ドラえもん明(あ)る未来(みらい)ドア(ドア)はどれ 勝田台北 川井(かわい)よし雪
パールも三毛(さん)ジュニア(ジュニア)のハグ(ハグ)に照(て)れ 大和田新田 渡邊(わたべ)けい子
ぼそぼそと耳(みみ)に試練(しれん)の妻(つま)の声(こゑ) 勝田台 矢嶋(やじま) 吉木
昭和史(しやわし)の煙(けむ)たい父(ちち)を懐(なつか)かしむ ゆりのき台 石田 らく